

1	審議会名	真田地域協議会
2	日 時	平成29年8月22日(火) 午後7時00分から午後9時00分まで
3	会 場	真田地域自治センター3階 301会議室
4	出席者	倉島秀紀委員、倉嶋幸雄委員、駒村厚子委員、齊藤恵委員、関千代子委員、高寺由美子委員、竹倉征祠委員、竹村尚美委員、鶴岡政明委員、西牧真吾委員、本田寿子委員、松本規男委員、丸山恵子委員、宮下俊哉委員、宮島国彦委員、山宮徳男委員
5	市側出席者	山宮センター長、塚田地域振興課長、堀内市民サービス課長、桜井産業観光課長、大熊建設課長、越上下水道課長、清水教育事務所長、瓶子真田消防署長、宮崎地域振興課地域政策担当係長、伊藤主査、春原主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ <del>一部公開</del> ・ 非公開
7	傍聴者 0人	記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成29年9月20日
協 議 事 項 等		
会議次第		
1	開会	
2	会長あいさつ	
3	センター長あいさつ	
4	報告・確認事項	
	(1) 真田地域簡易水道統合整備事業について	
	○真田上下水道課から、真田地域簡易水道統合整備事業について説明	
	・質問意見 なし	
	(2) 次回協議会開催日時の確認	
	・第6回真田地域協議会	
	開催日時：平成29年9月19日(火) 午後7時から	
	(3) その他	
5	分科会協議及び協議状況の報告	
	分科会協議終了後、各分科会から協議状況の報告	
	(第1分科会) 地域コミュニティづくりと地域の連携について話し合った。傍陽地区では傍陽小学校を良くする会があり、支部長や自治会長などの役員が年に4回ほど集まり、いろいろな話し合いをされている。今夏はイノシシが出没し、校長先生から自治会長になんとかして欲しいと連絡があり、学校と地域はコミュニケーションがとれていることをお聞きした。学校のコミュニティでは、北小学校と浦里小学校の事例を紹介していただいた。地域の人が先生となり、放課後、児童クラブの延長のように行っている。まず、学校がなにを必要としているか、地域の中でこんなことができる人の掘り起しなど、人材を探すところが難しいが、そこから取り組んでいく必要がある。集まれる場として、学校を拠点としてもいいが、町全体の拠点としての集まれる場も必要ではないかという話が出された。	
	(第2分科会) 公共交通機関と今後の在り方ということについて話し合いを進めた。まず、現行の公共交通機関の利用促進については、時刻表をもう少し見やすくしたらどうか、路線バスがどこを走行していてバス停までの到着時間を知らせるなど、利用する側にとってのサービス向上も必要ではな	

いかという意見が出された。また、バス停まで行かれない交通弱者をどうしたらいいかなどを話し合った。デマンド交通、公共タクシー、乗りあいバスなどを考えるところまで話を進めているが、路線バスと新しい交通体系の両方を実現させるには難しい部分がある。今後、もう少し深く話し合いを進めていきたい。

(第3分科会) 前回、三つの柱を中心に考えていくことになっており、今日は、その中の菅平高原のキャンプ地誘致と“食”を結びつけるにはどうしたらいいかを話し合った。来年から海外のチームが来た場合、真田の水、野菜、果物のおいしさを海外の方に宣伝するには絶好の機会ではないかと捉え、どのようにしたらいいかを話し合った。もう一つ、真田の農業を生かした6次産業という部分について話し合い、いろいろと意見が出されたが、それらを結びつける部分が難しいところである。今後、最終的にどのようにまとめたらいいかを絞り込んで考えていくことになった。

## 6 閉会